

(1) 教科書【国語総合・第一学習社】

P13～「身近な動植物の名を覚えよう」について

- ① 本文をノートに写す
- ② P13、P14、P15、P17の「下のほうにまとまっている漢字」をすべて書き出し、その漢字にフリガナをふる。(ノートに書いてください)
- ③ 次の問いの答えをノートに書きましょう
 - a) 私が「すっかり幻滅してしまった」(P17・7行目)のはなぜか。
 - b) 筆者が「まず、身近な動植物の名を覚えることを勧めている」(P14・15行目)のはなぜか。
 - c) 筆者が「自然の不思議と神秘的な美しさをいとおしむことを、子供たちに、ぜひ教えていきたい」(P17・1行目)と考えるのはなぜか。
 - d) 個体識別法(P17・10行目)とはどういう方法か。
 - e) 筆者が「外国人の大学院生に、『個体識別をしなければ研究はできない。』と言い渡し」(P18・8行目)たのはなぜか。
 - f) 筆者がこの文章で読者に一番伝えたかったことは何か。ノートにまとめてみよう。

(2) 「身近な動植物の名を覚えよう」の筆者・河合雅雄さんについて調べよう！

- ① インターネットなどを活用して、河合雅雄さんについてわかったことをノートにまとめよう。分量はおおよそA4サイズ1ページ。
- ② 次の新聞記事をインターネットなどで読んで、感想をノートにまとめよう
記事：東京新聞デジタル動物との交流が原点 集大成のファンタジー小説を発表 河合雅雄さん(霊長類学者) <https://www.tokyo-np.co.jp/article/culture/doyou/CK2019070602000300.html>

★さらに「動植物を知る面白さ」を求めたい人へ★

本校には、動植物に興味のある人も多いと思います。こんな動画があるので、ぜひ、楽しんで学んでください。

◎むしハカセ ちょびひげ / You 虫部 <https://www.youtube.com/channel/UC7QaVC6RZiWx-bu-DdOJgwQ>

提出日：学校再開後の国語の授業で指示

★ノートへの書き方は特に指示しません。各自で見やすいようにまとめてみてください。

答えが難しいところもあると思いますが、頑張って、何かしらの答えを書いてみてください。

また前回までの課題は4月までの課題とし5月以降はこちらの新しい課題に取り組んでください。

休校が続く不安なところもあると思いますが、各家庭で頑張ってください。

2枚目の指示も見てください。

【さらに学びたい人・自分を高めたいへ】

臨時休校中の課題をひとつお終えて、進学や就職などに不安を抱えている人は、ぜひ、以下の課題にチャレンジしてみてください。いま、インターネット上に、さまざまな「学習支援サイト」が立ち上がっています。国語科としてのおすすめは、以下の通りです。

①文部科学省が開設している「子どもの学び応援サイト」

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

このサイトの「高等学校」の「国語」のページを開いてください。ページの中から興味ある課題、チャレンジしてみたい課題に取り組んで、1つの課題につきA4サイズ用紙の半分程度、「学んだこと」「感想」などをまとめてください。中学校のページもかなり参考になりますので、「ちょっと難しいな」と感じた場合は、中学校の復習の意味もかねて、ぜひ、チャレンジしてみてください。

②埼玉県教育総合センターのホームページから「家庭学習支援サイト」

(「家庭学習支援サイト 埼玉」で検索してください)

a. このサイトの「おうちでしっかり学ぼう 学習プリント集」の「中学3年生」の「ことわざ・慣用句」のプリント類

b. このサイトの「YouTube 学習動画集」から、<高校国語 現代文入門「評論文読解の基礎」>

③「NHK 高校講座」のサイト

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/>

このサイトの「国語」のページを開くと、「国語表現」「国語総合」「現代文」「古典」「ベーシック国語」のどの番組でもよいので見てください。課題が掲載されていますので、その課題に取り組んでください。

④【休校支援】高校生の学びを支援するサービス(まとめ)のサイト

<https://resemom.jp/article/2020/03/04/55154.html>

このサイトから、できそうな課題にチャレンジしてください。

とにかく健康であることが何よりも大切です。いまはじっと力をためて、心と体と頭の自主トレーニング期間だと思って、がんばってくださいね。また、この機会にインターネットでいろいろ勉強できることを体感してもらえたらと思います。

埼玉県立羽生実業高校 国語科担当者一同